

2009年5月20日

保護者各位

学長 吉川幸次

新型インフルエンザについて

日本での新型インフルエンザ感染者が増加しています。本学では対策本部を設け、下記のように学生に注意を呼びかけていますが、保護者の皆様におかれましても、この点ご留意いただければと存じます。

記

1. 不必要に人の混雑するところに行かない。
2. 電車やバスなど多くの人を利用する乗り物を利用するときは、マスクを着用する。
3. 風邪などで咳が出る人は、咳やくしゃみのときティッシュで鼻と口を被い、他の人から顔をそむけ、出来る限り1～2メートル以上離れる。
4. 発熱等の症状があるときは、医者 の 診 断 を 受 け る。また、インフルエンザと診断された場合は大学に連絡する。(出席停止の場合は欠席になりません)
5. 海外旅行をするとき、また、帰国したときは、大学に報告する。

以上

なお、3. は「咳エチケット」として、文部科学省からの文書に詳しく次のように説明されています。

風邪などで咳やくしゃみが出る時に、他人に感染させないためのエチケットである。感染者がウイルスを含んだ飛沫を放することで周囲の人に感染させないように、咳エチケットを行う。

咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2メートル以上離れる。ティッシュなどが無い場合は、口を前腕部(袖口)で押さえて極力、飛沫が拡散しないようにする。前腕部で押さえるのは、他の場所に触れるのが少ないため、接触感染の機会を低減することができるからである。呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱へ捨てる。咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は、その後直ちに洗うべきであるが、接触感染の原因にならないよう、手を洗う前に不必要な周囲に触れないよう注意する。手尾を洗う場所がないことに備えて、携行できる速乾性擦式消毒用アルコール製剤あるいはパック入りのアルコール綿を用意しておくことが推奨される。咳をしている人にはマスクの着用を積極的に促す。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができる。